

ひろげる  
つなぐ  
かえる

# 市民活動・ ボランティア ニュース

2009  
7

発行 / みえ県民交流センター指定管理者  
みえNPOセンター・ワーカーズコープ  
514-0009 津市羽所町 700 番地アスト津 3 階  
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971  
E-mail center@mienpo.net  
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

2009年6月25日発行  
通巻127号

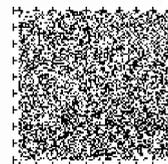


この時期、NPOにとっては「総会」の季節です。  
決算を行い、事業計画を立て、理事会で議論し総  
会に諮る、一連の作業はNPOにとって一年で最も  
重要な行事でもあります。

1年間の事業を振り返り、これからの進め方を決  
める、大切な「総会」。情報を公開して会員との意思  
の疎通を図る重要な意味を持っています。

このことは、そもそも何のためにNPOとして組  
織化し活動を続けてきたのかを改めて確認する良  
い機会でもあります。ともすれば、目先のことに目  
を奪われ設立当初の熱い思いを忘れがちなることは  
よくあることです。そうした誤差を是正していくた  
めにも「総会」には真摯に取り組みたいものです。

右の様子は SP コードと呼ばれる  
バーコードで、専用の読取機で  
音声聞くことができます。



## 三重県NPOグループからお知らせ

### 特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

- 認証申請団体(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
- (1)四季(2)奥田一枝(3)鈴鹿市住吉5丁目7番1号
- (1)研鑽科学研究所(2)小野雅司(3)鈴鹿市阿古曾町26番10号エスポア3D
- (1)アスベスト対策支援機構(2)瀬古昌伸(3)鳥羽市安楽島町329番地180
- (1)HOT(2)辻 富子(3)名張市矢川164番地3
- (1)ケアファーマー(2)藪内伸介(3)津市一志町井生1838番地2
- (1)不動産保全管理活性化協議会(2)川染智騎(3)松阪市嬉野中川新町三丁目68番地3
- (1)地域資源循環システム協議会(2)田畑隆敏(3)津市大門1番27号  
(平成21年5月10日～平成21年6月9日申請分)

### 成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 自然療法情報センター(平成21年4月17日)
- 音色(平成21年4月28日)
- 日中友好さくらの会(平成21年5月1日)
- 津の水源と食の安全フォーラム(平成21年5月25日)
- 新エネルギーと福祉住設改善普及の会(平成21年5月26日)  
(平成21年5月10日～平成21年6月9日届出分)

### 特定非営利活動法人の方へおねがい

本年4月より市民活動・ボランティアニュースの発行が「みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に移行したことは既にお知らせしたとおりです。それに伴い、本ニュースの送付方法がメール便に変更になりました。従来は郵便局から送付されておりましたので、事務所所在地が転送されても一定の期間は転送されておりましたが、メール便に変更の結果、毎回相当数が転居先不明のため、戻ってきています。

事務所所在地が変更になった場合には、速やかにその旨を県に届ける必要がありますので、早々に定款変更届を提出ください。

- 定款変更届の送付先・問合せ先/  
三重県生活・文化部 男女共同参画・NPO室 NPOグループ 514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階  
Tel. 059-222-5981

## みえ市民活動 ボランティアセンター からお知らせ

### 中間支援組織担当者ネットワーク交流会 ～顔の見えるつながりを作りませんか?～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

- 【交流会】●とき/7月15日(水)13:30～16:00
- 【協働勉強会】●とき/8月4日(火)13:30～16:00
- 問い合わせ先/みえNPOセンター・ワーカーズコープ  
Tel.059-222-5995

## イベントスケジュール

### 乳がん体験者の会あけぼの会三重支部主催 第19回あけぼのサロン(おしゃべり会)

- とき/7月1日(水)13:00～15:30
- ところ/伊勢市観光文化会館(近鉄宇治山田駅前)
- 内容/あなたは、一人では、ありません。乳がんの体験者の方ならどなたでも、参加できます。

- 応募締切/6月30日(火)
- 申込・問い合わせ先/小野 Tel.0596-25-3426  
090-2944-4773

### 身近な外国人支援のための・・ 「にほんご指導ボランティア養成講座」

- とき/7月4日～9月5日(土曜・全8回)13:00～17:00
- ところ/伊賀市ゆめぼりすセンター
- 参加費/無料(教材費、ボランティア保険は実費負担)
- 内容/生活者としての外国人の立場にたった日本語で「にほんご」の教え方の基礎を学びます。
- 募集人数/20人(定員になり次第締切)
- 問い合わせ先/(特活)ユニバーサルデザイン同夢  
Tel.& Fax.0595-23-9513 E-mail son@doumu.net  
ホームページ <http://www.doumu.net>

### フリーマーケット in 四日市ドーム VOL.30

- とき/7月5日(日)10:00～16:00
- ところ/四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169)
- 参加費/当日525円、前売315円(小学生以下は無料)
- 内容/フリーマーケット700ブース 飲食8ブース 企業6ブース。会場内ステージにて、ダンスパフォーマンス・ウルトラビンゴゲームなどを開催。  
会場内南口メイン入場口付近では、三重県環境学習情報センターによる『エコバッグに絵を描こう!』、我楽の会による『昭和レトロ&コレクターズマーケット』を行います。
- 問い合わせ先/(特活)MFA Tel.059-320-0133  
Fax.059-320-0134 E-mail [webmaster@mfa.gr.jp](mailto:webmaster@mfa.gr.jp)  
ホームページ <http://www.mfa.gr.jp/>
- 共催/レディオキューブFM三重

### 子どもの心を受け止める子ども専用電話チャイルドライン24 受け手養成のための講習会 (平成21年度)

- とき・内容/7月5日(日)
- 10:00～12:00「チャイルドラインとは」
- 13:00～15:00「不登校の現場から」
- 7月11日(土)10:00～12:00  
「エンパワメント 子どもを信じて」
- 13:00～16:00「性と自立」
- 7月12日(日)
- 10:00～12:00「私の存在～依存症から考える～」
- 13:00～15:00「子ども虐待」
- 7月18日(土)13:00～15:00「子どもの権利条約」
- 7月20日(月・祝)13:00～15:00「思春期外来」
- 7月25日(土)
- 10:00～12:00「聴くこと」/13:00～16:00「ロールプレイ」
- ところ/アスト津3階イベント情報コーナー(津駅隣接ビル)
- 参加費/大人5000円(定員50人)、ユース(12歳～25歳まで)3000円(定員30人)、1プログラムのみ1500円
- 内容/チャイルドラインは、指示しない、指導しない、傾聴することで、かけ手である子どもがエンパワメントすることを支援する電話です。あなたも講習会に参加し、地域で、受け手ボランティアをしてみませんか?
- 問い合わせ先/514-0125 津市大里窪田町2709-1  
「チャイルドライン24」実施組織 Tel.& Fax.059-211-0024  
E-mail [jisshi@childline24.net](mailto:jisshi@childline24.net)



## 名張市市民情報交流センターオープン記念 市民活動・ボランティアスキルアップ講座 第1回

●とき／7月5日(日)13:30～15:30

●ところ／名張市市民情報交流センター

●参加費／無料・参加申込不要

●内容／NPO界のトップリーダーが勢揃いする講座の第1回。講師は(特活)シーズ・市民活動を支える制度をつくる会事務局長の松原明さん。テーマは「NPO・ボランティアの昨日 今日 明日」です。なお、この事業2009年度名張市「新しい公」推進のための委託事業公募に対し、(特活)赤目の里山を育てる会が提案し、採択を受けたものです。来年2月までに全7回開講されます。

●申込・問い合わせ先／(特活)赤目の里山を育てる会  
Tel.0595-64-0051

ホームページ <http://www.akame-satoyama.org>



## Let's ファミリーキャンプ2009

●とき／7月11日(土)10:00～15:00ごろ

●ところ／朝明茶屋キャンプ場

●参加費／中学生以上2000円、小学生1500円、幼児(3才以上)800円

●内容／家族でキャンプ!にじますのつかみ取り、具だくさんのお味噌汁、ちびくろさんぼのパンケーキも焼きます。もちろん川遊びもお楽しみください。

7月の金曜日には先輩ママと交流しながら子どもと遊ぶ「かるがもくらぶ」、7月13日(月)10:00からは「おしゃべりサロン」も開催します。

●問い合わせ先／子育て広場・ドロップin

Tel.& Fax.059-363-3728

E-mail [smile\\_dropin@yahoo.co.jp](mailto:smile_dropin@yahoo.co.jp)

ホームページ [http://www.geocities.jp/smile\\_dropin](http://www.geocities.jp/smile_dropin)

## ワイワイフェスティバル

●とき／7月18日(土)10:00～15:00

●ところ／紀北町紀伊長島港魚市場  
(雨天決行)

●内容／不用品・手づくりの作品・新鮮野菜等を販売するフリーマーケットコーナー(出店者募集、1ブース500円(先着順)。布・紙・ビーズを使ってオリジナル小物を作る手芸体験コーナー。キャラメルポップコーン・かき氷・冷しぜんざいなどを用意したちょっとひと休みコーナーなどがあります。

●問い合わせ先／手作り工房ワイワイ(担当:井谷)

Tel.090-6762-3535



## 田んぼを通して見えてくることVOL.29

### 夕方の田んぼって気持ちイイ!

●とき／7月18日(土)15:00～17:00頃(雨天中止・曇天実施)

●ところ／14:45もみじ館駐車場(大台町下真手)集合

●参加費／200円(保険代含)小学生以下無料

●内容／田んぼの中にあるのはイネだけじゃない。懐かしの草取り機を使って作業します。夕方の田んぼの気持ちよさを感じてください。ご家族連れの参加歓迎!お楽しみのおやつ付です。

●募集人数／申込順15人程度(要予約)

●応募締切／7月16日(木)15:00

●申込方法／住所、氏名、緊急電話を、電話、Fax、E-mailで連絡。

●問い合わせ先／エコミュージアムセンター宮川流域交流館  
たいき Tel.& Fax.0598-86-3851(開館時間 10:00～16:00) E-mail [mrune-t@ma.mctv.ne.jp](mailto:mrune-t@ma.mctv.ne.jp)

宮川流域ルネッサンス協議会 Tel.0596-27-5411(開館時間 平日8:30～17:00) Fax.0596-27-5418

E-mail [nmiyare@pref.mie.jp](mailto:nmiyare@pref.mie.jp)

## 平成21年度 名張市市民公益活動実践事業 ぱりっ子みんなで手をつなごう!

### ～ライブペインティングでつなぐ子育て～

●とき／【第1回】7月22日(水) 【第2回】7月29日(水)  
時間は両方とも10:30～(その後2回については未定)

●ところ／伊賀つばさ学園体育館  
(名張市美旗町南西原229-2)

●参加費／親子ひと組4回分1000円(初回受付時に徴収。子どもが複数の場合も同額。欠席による返金をご容赦ください)

●内容／ライブペインティングは音楽に合わせて、絵を描くパフォーマンスのことです。アーティスト門秀彦さんと一緒に、描いて踊って笑いましょう!子どもの障がいの有無は不問。絵や音を楽しめる子ならOKです。

●募集人数／親子50組程度。

●応募締切／7月11日(土)必着 応募者多数の場合、抽選

●申込方法／参加者全員の氏名、生年月日、連絡先住所、電話、あれば留意事項をハガキ、Fax、E-mailのいずれかで連絡。

●主催・申込・問い合わせ先／自然育児サークルぼればれ  
518-0643 名張市桔梗が丘西3-3-107 かがやき 内  
Tel.0595-67-0250(かがやき) Fax.0595-66-5650  
E-mail [baripore@livedoor.com](mailto:baripore@livedoor.com)

## 企画力向上サロン・(アゴラ)

●とき／【1】7月24日(金)19:00～21:00

【2】7月25日(土)10:00～12:00

●ところ／松阪市市民活動センター(松阪市日野町788)

●参加費／1000円 ●募集人数／20人(先着順)

●内容／アゴラは世界のアイデア発想法を楽しみながら試す場です。【1】『プレスター体験 & 企画のコツ』アイデアの拡がり促進するツール「プレスター」を使い、ブレインストーミングの基礎を身に付けます。

【2】『ブレイン・ライティング・シート体験』講座は、控えめな性格の方からも発案を引き出せるのが特徴である手法を学びます。「少しメンバーに発案力があれば…」とお悩みの団体に最適!

●申込方法／FaxまたはE-mail。「7. 24プレスター参加希望」もしくは「7. 25BWシート参加希望」と住所、名前、Tel、Fax、E-mailを記入のこと。8月以降の内容は、メールマガジンでお知らせします。ホームページからご登録を。

●問い合わせ先／(特活)Mブリッジ(担当:米山)

Tel.0598-23-8400 Fax.0598-25-3803

E-mail [info@m-bridge.jp](mailto:info@m-bridge.jp)

ホームページ <http://www.m-bridge.jp/nextdoor/>

## ドイツ国際平和村でのボランティア活動を終えて

●とき／7月26日(日)16:00～18:00

●ところ／アスト津3階 みえ県民交流センター「ミーティン

グループB)(津駅隣接ビル・駐車場有)

●内容/ドイツ国際平和村は、世界各地の紛争地域などで危機に瀕した地域の子どもたちを集め、医療援助を行い、本国に戻すという活動を行っています。5月末までボランティアとして活躍された松島千佐子さんを講師に迎えて、平和村の活動や実情、日々の体験等をお話いただきます。

●応募締切/7月22日(水)

●主催・問い合わせ先/三重日独協会(担当:向井明子)

Tel.059-232-0594

E-mail am.deutsch1685@gmail.com

## よびかけ 報告

### ごみゼロソング歌詞募集します

「ごみゼロ社会」づくりを、みんなで進めるために「ごみゼロソング」をつくることとし、その歌詞を、広く皆さんより募集します。

●募集内容/ごみゼロソング歌詞(2~3分程度の曲用の歌詞)

(1)ごみゼロ社会に向けて、一人ひとりが取り組みたくなるような内容でお願いします。

(2)「みんなでめざそう“ごみゼロ社会”」という言葉ができるだけ入れてください(採用条件ではありません)。

●応募資格/県内在住または在勤、在学の方。

●応募締切/7月31日(金)17:00必着

●申込方法/郵送またはFaxの場合は、チラシ裏面に歌詞のほか、住所、名前、電話番号を明記し応募。E-mailの場合は、ホームページ内の応募様式を利用。(※ひとり、何点応募しても可)

●問い合わせ先/514-8570 津市広明町13番地 三重県環境森林部ごみゼロ推進室 ごみゼロソング歌詞募集係(担当:清水、伊藤) Tel.059-224-3126 Fax.059-229-1016

E-mail gomizero@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/gomizero/>



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」

### 要約筆記奉仕員養成講座受講生募集

●応募締切/7月10日(火)当日消印有効

●とき/8月1日~12月12日(延べ13回)

土曜または日曜 10:00~16:00

●ところ/三重県人権センター(津市一身田大古曾693-1)

三重県身体障害者総合福祉センター(津市一身田大古曾670-2)

●参加費/無料(テキスト代約3000円は自己負担)

●募集人数/手書き要約筆記25人、パソコン要約筆記15人

●受講対象者/【手書き・パソコン共】県および市町の登録要約筆記奉仕員として活動する意志のある方/聴覚障がいに対する関心があり、理解しようという意欲がある方/全日程の80%以上の出席で修了

【パソコン】ノートパソコン(LAN内蔵またはLANカードが使えること)を持参できること

タッチタイピングを十分に習得していること

OSはウインドウズ98以上(NTおよびマッキントッシュは不可)

パソコンの基本操作(ファイルの保存や複写など)ができること

インターネットからファイルのダウンロードができ、パソコンの

メールが使えること

●申込方法/往復はがき。記載内容はお問い合わせを。

●申込・問い合わせ先/(社)三重県聴覚障害者協会

514-0003 津市桜橋2-131 三重県社会福祉会館5階

Tel.059-229-8540 Fax.059-223-4330

## 助成金 情報

### イーパーツ寄贈プログラム

【第50回リユースPC寄贈プログラム】

●受付締切/7月14日(火)

●寄贈の対象となる団体/以下のすべての条件を満たす団体。寄贈対象には社会福祉法人・財団法人・任意団体も含まれます。

日本国内を拠点に非営利活動を行っている団体

社会的課題の解決のため、寄贈PCを有効に活用して下さる団体

OSおよびOfficeのアクティベーション(認証)、ドライバの更新などPCの設定ができる団体

●寄贈品/CPU1.3GHzクラス以上のリユースノートPC(デスクトップが可能な場合もあります)ソフトウェアはWindows Xp Professional、Office Xp Standard、Virus Buster2009をインストール済み。

●寄贈台数/約60台。1団体につき1台単位で上限10台

【第11回カラーレーザープリンタ寄贈プログラム】

●受付締切/7月15日(水)

●寄贈の対象となる団体/日本国内に主な事務所のある非営利団体であること(法人格の有無は問わない、財団・社団・社会福祉法人でも可)

社会的問題の解決のため、寄贈プリンタを有効に活用して下さる団体。その他詳細はホームページを参照。

●寄贈品/リコーカラーレーザープリンタ IPSIO SP C710、C711

●寄贈台数/20台を予定。1団体につき1台。

●応募方法/ホームページ参照のこと。

●問い合わせ先/(特活)イーパーツ事務局 154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-55-8 パレグレイス501 Tel.03-5481-7369(平日13:00~18:00)

Fax.03-6805-2728 E-mail info@eparts-jp.org

ホームページ <http://www.eparts-jp.org/>

### 米日財団 日米相互理解プロジェクト助成

●受付締切/通常は年2回(7月15日と1月15日)ですが、若干前倒しになることがありますので、念のため、個別にご照会ください。

●助成の対象となる団体/無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国人も応募できます。ただし、個人や営利団体は対象外です。

●助成の対象となる活動/「コミュニケーション」「世論」のための助成:日米両国民の相互理解のため、メディア、非営利団体、世論、また映像などの各分野において具体的な問題について協力・研究するプロジェクト。但し、個人や営利団体は対象外。

●応募方法/直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。

●問い合わせ先/米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2 豊南坂ビル1階 Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128

ホームページ <http://www.us-jf.org>

### あしたのまち・くらしづくり活動賞

●受付締切/7月24日(金)

●助成の対象となる団体/地域住民が自主的に結成し運営している団体、または、地域活動団体と積極的に連携して地域づくりに取り組む商店街、学校等で、地域に即した発想・リーダーシップ・方法などにより、地域づくり、くらしづくり・ひとづくり活動に2年以上取り組み、大きな成果をあげて活動している団体。

●助成の対象となる活動/次に例示するような活動に取り組み、その活動を通じて、地域づくり・くらしづくり・ひとづくりに大きな成果をあげた活動など。

(1)子どもの安全を確保するための見守りや遊び塾、放課後子どもの居場所づくり、寺子屋、地域の学校との協働などによる子どもの健全な育成等の活動など。

(2)高齢者や熟年者の生きがいづくりや日常生活のサポート・ケアなどの充実に取り組む活動など。

(3)町並みや棚田などの景観の保全や整備、放置自転車対策、コミュニティバスなど公共交通、公園など公共施設の整備による快適な生活環境をつくり出す活動など。

(4)伝統芸能の継承や地域の歴史の掘り起し、劇団活動などの地域文化の振興、市民スポーツクラブの育成、健康体操教室による住民の健康づくりなどの活動など。

(5)生ごみや廃食油のリサイクルなどにより、地域循環型社会をめざす活動など。

(6)都市と農山漁村との交流活動や、地域資源を活かした特産品の開発等による地

域産業を振興する活動や中山間地の元気まちむらづくり活動など。

(7)地域の資源、伝統を生かした食文化を育む食育活動など。

(8)防犯パトロールなど各種の防犯活動やひやりマップ・防災マップ等などによる犯罪や災害に強いまちづくりの活動など。

(9)地域の人々や企業、行政などと協力しながら、子どもも大人もホッとできる居場所づくりや子育て親育ちのサポート、体験活動、世代間交流、地域の「子育てネットワーク」づくり、子育て支援活動の活動など。

(10)その他、住み良い地域づくり・くらしづくり・ひとづくりを目指す活動など。

●表彰／内閣総理大臣賞(1件)、内閣官房長官賞(1件)、主催者賞(5件以内)、振興奨励賞(20～30件)

●応募方法／申込用紙などはホームページからダウンロード。応募は、郵便、宅配便又はE-mailにて。

●問い合わせ先／(財)あしたの日本を創る協会「あしたのまち・くらしづくり活動賞」係 101-0021 東京都千代田区外神田1-1-5 昌平橋ビル3階 Tel.03-3251-6681 Fax.03-3251-6682 E-mail ashita@ashita.or.jp ホームページ <http://www.ashita.or.jp/>

## (財)みずほ社会福祉助成金

●受付締切／7月31日(金)必着

●助成の対象となる団体／原則として1年以上の継続的な活動実績のある法人施設、団体、共同作業所等又は研究グループ(3人以上)とし、個人は除きます。

●助成の対象となる活動／障害児者に関する事業及び研究で先駆的・開拓的の事業及び研究を優先(但し、研究助成については「社会福祉(ソーシャルワーク)に関する研究」も可)。

●助成の額／総額4500万円、事業助成…15万円以上100万円を限度。研究助成…200万円を限度。

●応募方法／申込書はハガキかFaxで下記へ請求するか、ホームページからダウンロード。

●問い合わせ先／(財)みずほ福祉助成財団事務局 100-8333 東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル7階 Tel.03-3201-2442 Fax.03-5252-8660 E-mail BOL00683@nifty.com ホームページ <http://homepage3.nifty.com/mizuhofukushi>

## ユニバーサル財団市民活動助成

●受付締切／7月31日(金)必着

●助成の対象となる団体／1、高齢者が活動する市民活動団体。2、高齢者の医療・保健・福祉、まちづくり等、高齢者を対象とする市民活動を行う団体。

●対象事業の期間／1年間

●助成の額／原則として上限100万円。

●応募方法／財団所定の申請書を書留又は宅配便で送付。申請書はホームページからダウンロードできます。

●問い合わせ先／財団法人ユニバーサル財団 160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階 Tel.03-3350-9002 Fax.03-3350-9008 ホームページ <http://www.univers.or.jp/>

## RICOH グリーンプロモーション エコひいき2009

●受付締切／7月31日(金)消印有効

●助成の対象となる団体／愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井、静岡内の非営利団体・グループ(法人格の有無は問いません)エコひいきのオモイに共感し、原則として、年間事業費が500万円以下の団体・グループ。

●助成の対象となる活動／以下の条件をすべて満たしている活動

- 1)地域の環境啓発・保全・改善につながる活動
- 2)社員・家族が参加しやすい活動場所
- 3)社員・家族が参加できる具体的な活動計画があること
- 4)助成終了後も活動の継続性や発展性が期待できる活動

5)2009年10月までに着手できる事業

●助成の額／1団体20万円+社員・家族などの活動への参加。最大7団体を助成。

●応募方法／応募用紙等をホームページからダウンロードし、E-mailまたは郵送で提出。

●問い合わせ先／環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)(担当:新海 鶴飼) 460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル4階 Tel.052-218-8605 Fax.052-218-8606 E-mail office@epo-chubu.jp ホームページ <http://www.epo-chubu.jp>

## (財)松翁会社会福祉助成金

●受付締切／7月31日(金)消印有効

●助成の対象となる団体／【1.事業助成】原則として法人施設、団体。ただし、法人格をもたないものであっても、特に助成することにより効果が期待できる場合は対象とすることもあります。個人は除きます。

【2.研究助成】法人施設、団体または研究グループ

●助成の対象となる活動／社会福祉に関する民間の事業、研究。

●助成の額／年間総額1000万円程度。1件あたり原則80万円程度。

●応募方法／所定の申込用紙を下記ルートで申込む。なお、申込用紙の社会福祉協議会などのコメント欄は県または市町社会福祉協議会か、県および市町の福祉関係部署に記入を依頼してください。

1.県指定都市社協(申込書配布)―申請団体一松翁会

2.松翁会(申込書配布)―申請団体一松翁会

●問い合わせ先／(財)松翁会事務局助成係 100-0004 東京都千代田区大手町1-5-4 大手町フィナンシャルセンター3階 Tel.03-3201-3225

ホームページ <http://shouhukai.or.jp/index.html>

## 第7回MPドリーム助成金

●受付締切／8月20日(木)必着

●助成の対象となる団体／三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ。ただし、総収入額に対する国、地方公共団体等の助成の割合が50%以上、または、総支出に対する人件費の割合が50%以上のグループは、対象外となります。

●助成の対象となる活動／(1)学習会・研修会の開催

(2)調査・研究の実施 (3)福祉教育・ボランティア啓発の実施

(4)ボランティアグループによる先駆的・モデル的活動

(5)器具・器材の購入 (6)その他

●対象事業の期間／平成22年1月1日～6月30日

●助成の額／1グループ20万円以内。40グループ以内。

●応募方法／申請用紙はホームページからダウンロード。応募は郵送にて。

●問い合わせ先／三重県遊技業福祉連合会事務局(担当:山川・山添)

514-0006 津市広明町328 (株)津ビル内

Tel.059-221-1677 Fax.059-227-7332

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~m-yuukyoo/>

## おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご留意のうえ、積極的なご活用を期待しています。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。

(2)送付はE-mail(ない方はFax)で。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

E-mail center@mienpo.net Fax.059-222-5971

転載を希望される場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワークスコープ」に連絡してください。

## みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

「地域とともに みなさまとともに」

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

〈広告〉 5

株式会社等の各種法人設立から許認可手続きまで

## NPO・社団法人設立手続

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 法 務 よ い よ

0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所L.C内) 三重県津市本町14-18 URL [www.e-houmu.info](http://www.e-houmu.info)

〈広告〉

# NPO 物語

組織にスポットライトをあて三重県内の市民活動団体を紹介していきます。

vol.3

特定非営利活動法人

# みえきた市民活動センター

語り手・服部則仁さん(理事長)

## 市民活動団体と一般の人。その心の距離

……現在までの変遷は？

2000年の春に前身である“平成の町割会”という任意団体をみんなで作りました。きっかけは、三重県県土整備部が桑名で行った市民活動団体交流事業でした。

会の目標は3つ。一つは情報の循環。「まちのかわら版」というニューズペーパーを月一回発行する他、インターネットのメーリングリストで頻りに情報を交換しました。もう一つは各団体の活動内容を知り、団体が交流すること。月一回、団体紹介を行う交流会を開きました。一年半ほど続け、出席者が半減したところで、市民活動団体同士の信頼感は生まれてきたと判断し、終了しました。最後の一つは活動拠点。これには、市民活動をしている人たちのサロンという面と、市民活動を行っていない人たちに対して情報を届ける開かれた場所としてのプラザという二つの側面があります。具体的には団体の活動を支援するため、小さな団体の共同事務所機能とか、会議室など場所提供機能とかを持たせました。

……市民活動をしていない人への情報提供は？

「まちのかわら版」は、桑名員弁地域の公的施設のほか、銀行や喫茶店など100ヶ所以上に置いてもらい、部数も1000部くらいから始めたのが3000部になり、ページ数も24ページにまで増えました。内容は市民活動団体紹介、イベント紹介、トピックス、お得情報、行政情報などです。可愛いイラストがたくさん入っていて、身近に感じてもらっていたようです。桑名地域に市民活動の調査などに来た人たちがお土産に持ちかえることも多く、地域の市民活動の水準を照らし出したペーパーメディアだったと思います。4年間48号というのは担当者に感謝です。

……市民活動団体と一般の人々の距離は、近づきましたか？

市民活動をしている人に必要なのは、一般の人からの応援。それは寄付や場所の提供などもそうですが、もっと心のレベルで「頑張ってるね」と声を掛けてもらえるような距離感の近さだと思います。それがあれば、元気が出るかな。そのためには、取り組みを知ってもらうことが第一。でも、市民活動団体はあまり上手に情報が出せていないような気がします。

市民活動団体の本来のメッセージは「問題がある。それをなんとかしたいんだ」と伝えていくこと。それなのにイベントの告知はするけれど、「なぜその事業をするのか」という理由や、取り組み結果の報告はあまりされていません。これは、市民活動団体が一般の人に対して感じている心の距離感が、そのまま情報の出し方として現れているような気がしますね。

## 民間中間支援センターの役割を意識して。

……法人化で、変わったことは？

2007年8月に桑名市市民活動支援センター(2009年4月より桑名市市民活動センターに名称変更)ができたのにあわせて、活動拠点としての事業は終わらせていきました。今は連絡先として、メンバーの一人が経営しているお店に事務局を置いている程度。電話は事務局長に転送、団体へ届いたメールは5人のメンバーで共有して、対処しています。執行役員という感じでしょか。この方法だとメールをザッと見て、「これは自分の担当だな」と感じた人が対処すればいいし、情報を共有できます。内容によってはメーリングリストである「まちのファンクラブ」へ紹介します。

……メンバー数は？

“平成の町割り会”の参加者はピーク時で120~130人ほどいましたから、その大きなネットワークは現在、「まちのファンクラブ」という形で、インターネット上のネットワークとして機能しています。その中の十数人が理事か監事になって“みえきた市民活動センター”として法人化し、今に至っています。メンバーは、企業の経営者や会社員もいれば、職業としてNPOで働いている人もいます。立場は様々ですが、みな、市民活動やNPOに関心のある個人の集まりです。

町割り会の3つの目的の内、現在生きているのは情報循環の機能ぐらいかな。周囲の変化に合わせて、私どもが手を抜けるところは、どんどん抜いてきたということでしょう(笑)。

……会議などはどうするのですか？

日常の打ち合わせなどはメーリングリストや電話などで対処できます。理事会や総会もネット上でできるのでしようが、そこまですると顔を合わせる機会がますます減りますから(笑)。市民活動をしている人の大多数は、24時間のうちの30分を使って市民活動に関わっているとわかれば、それに合ったやり方をいろいろと考えますよね。

……他に団体運営の工夫は？

NPO法人の定款を作る時、多くの団体が公益法人の定款を下敷きにした結果、事業計画や予算計画を総会で決定することにしようでしたが、私たちは総会では事業の方針を決め、事業計画、予算計画は理事会で決定するという定款にしました。また、事業報告をホームページにも掲載しています。

総会では決算や事業報告の承認の他は、今年の方針が数本並ぶだけで、あとは「何やりたい?」とみなで話し合う場になっています。NPO法はそういうことを可能にする法体系にしています。みんなでわいわいやるのが楽しいのです。会計システムも税制用とは別に、非営利団体としての有り様を示す会計システムがあるはずですよ。

……活動費用などは？

うちの財政規模は年間30万円くらい。メイン事業である「まちのかわらばんIT」は事業費ゼロ。イベントをすればボンとあがりますが、基本的には会費と寄付でやっています。お金が無くてもやれることはいっぱいありますからね。

……活動内容は？



「非営利である。利益を分配しない」と言っは、

「自分の私利私欲のために働いているわけじゃないよ」という二種の約束でもあると思います。

もらいたいと思い、企画しました。  
……企画に際して工夫したことは？

“みえきた”だけで企画するのではなく、“みえNPOセンター”と共催で行いました。“みえきた”だけなら、三重県の桑名地区という単位ですが、“みえNPOセンター”が関われば、三重県という単位になる。これは、全国に発信する時のアピール力が違いますね。全国に対して一定の影響を持つことができます。また、会場を桑名市市民活動支援センターにすることで、県内のNPOと連携を取りながら、行政とも関係を築いていることが伝わるようにしました。また、“みえきた”が段取りをすることで、三重県内の中間支援センターへのメッセージを送ることもなります。そして、「これまでの10年の反省よりも、これからの10年に対してのメッセージを作って」、それを全国に発信したわけです。

場所や一般的な情報提供は公設公営センターの機能でカバーできる。そうすると地域で民間が取り組むNPOネットワークの果たすべき役割は何か？さらに地域や分野を超えたネットワークがあれば、活動している個々のNPOが感じている地域課題を多くの人たちに伝え、全国に対して情報発信もできる。行政のカウンターパートという役割も。“みえきた”は、地域のNPOのネットワークとしてどうあるべきかを意識して活動しています。

……活動の意義について意識的です。

NPOというのは、普通の人々が社会に関わるための仕組みです。それぞれが違った考え方を持っているのはあたりまえで、それらの人たちが自分たちの思いを社会の中で形にし、課題をいっしょに解決していく。その時に「非営利である。利益を分配しない」と言うのは、「自分の私利私欲のために働いているわけじゃないよ」という一種の約束でもあると思います。

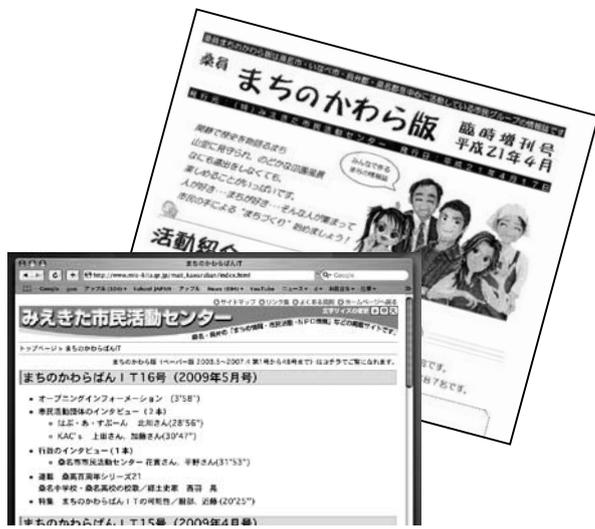
今、“みえきた”の動きは、表面的には「まちのかわらばんIT」だけぐらいに見えるかもしれませんが、「まちのファンクラブ」と重ねて、そういう視点から動きを組み立てていると理解してもらえると嬉しいですね。



会議の様子。

#### 【データ】

特定非営利活動法人みえきた市民活動センター  
住所 511-0088 桑名市南魚町86  
Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733  
E-mail miekita@mie-kita.gr.jp  
ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>  
●代表者 服部則仁(理事長)  
●団体設立年月日 2000年6月24日  
●NPO法人化年月日 2003年4月1日  
●会員数 13名  
●会費 12000円



ペーパー版「まちのかわら版」と「まちのかわらばんIT」

「まちのかわらばんIT」というインターネットラジオという形の情報発信です。2007年にペーパー版を終了した後、2008年から毎月1回ホームページ上で発信しています。1年半ほどで約60の市民活動団体にインタビューし、その音声ファイルを中心にアップしています。インタビューをそのまま音声で聞けるということは、ラジオの生放送と同じなんです。人柄や考え方、言葉の後にある部分がいっぱい見えるんじゃないかなと期待しています。社会に関わるために、自分が住む地域でどんな団体があるのかと探した時、インタビューを聞くことで文字情報とはまた違った伝わるものがあると思います。

……その他は？

地域の市民活動のネットワークとしてアクションすべきことはだいたいやっていますね。例えば公設のセンターや市民活動団体と交流したり、“みえNPOセンター”という広域のみえ全域のネットワークになんらかの形で関わったり。そこで得た情報は、「まちのファンクラブ」にフィードバックしていますし、それ以外にも全国規模のネットワークからの紹介などもありますから、ファンクラブのメンバーは桑名地区で起こっていることだけでなく、三重県や県内の市町、全国規模でのNPO情報を持っています。この部分はファンクラブ以外の人にはあまり見えてないでしょうが、市民活動を行っている人たちが、社会の中で自分たちがどの位置にいるのかを確認できる情報を提供することが大事だと思っています。

これ以外にも、メンバーが提案した企画はほとんど実現できるよう、比較的緩やかなミッションになっています。ただし、必要な資源、場所や人、お金などは自分で集めてくださいねと(笑)。

……具体例はありますか？

今年1月に、“特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会”の事務局長、松原明さんを桑名にお招きしました。去年はNPO法ができて10年経った年。これまでの10年と、これからの10年を多くの人たちが振り返った時期でした。全国から発信される意見を見ていると「違うんじゃない？」ということも多くて。もちろん、それぞれの必然性で出てきた意見なのですが…。それで、NPO法を作るために、一緒に汗をかいた松原さんの考えを聞かせて

# ひろげる・つなぐ・かえる

みなさんに一緒に考えていただきたい課題をNPOの視点で取り上げます。

## NPOで働くということ

組織にとって社会的な信頼を得るためには事務局の存在と継続性は欠かせない要素です。事務局のスタッフとしてそこで働く人は、小さな組織であればあるほど、組織の顔としての側面もあります。

新規卒者にとって就職活動のシーズンが始まりましたが、学生にとって働くのは単にお金を稼ぐ場だけでなく社会との接点であり、社会性を身につける場でもあります。近年、企業だけでなくNPOへの就職を希望する若者も増えてきているという話を聞きます。

NPOで働くということは、有給職員として給料をもらっている人としての責任と、ある意味ボランティアの延長線上にあると考える人もいるなど多くの方に支えられ、さまざまな思いが交錯した中で働くという、企業にはない甘さと厳しさを兼ね備えた場でもあります。

NPOは財政基盤の脆弱さを常に課題としており、事務局体制を整え有給職員を雇用するには運営基盤を支える資金力が必要となります。自分たちの思いを実現するために資金づくりをどうするか常に意識することが事務局自身に問われます。多くのNPOにとって有給職員を雇用するだけの資金確保が大変なのですから、平均給与の金額は決して高くありません。しかしながら多くのNPOでは給与の額という経済的な価値観ではなく、自分たちの思いを実現できる場という精神的な価値観を拠りどころにした方たちが活動しています。

NPOの場合、ミッションの実現に重きをおくので、社会変革をめざすNPOで理想や意欲に燃えて活動にかかわっている方も少なくありません。若い人には、そのような先進的な活動がやりがいや生きがい、自己実現に結びついているものと思われれます。自分のやりたいことを実現できる場として、今後、若い人たちの憧れの組織として多くのNPOに人材が集まってほしいものです。

市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/分部食堂/(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●桑名市市民活動支援センター ●いなべ市●いなべ市市民活動センター ●東員町●とういんボランティア市民活動センター ●四日市市●四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ ●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中京大学/松阪市市民活動センター ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会/いせ市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリゾート赤目の森/名張市市民活動支援センター/くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所/伊賀市市民活動支援センター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/第三銀行各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野)/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/齋宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町役場

## 協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行  
**第三銀行**

**三重銀行**

**百五銀行**  
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献  
**東海ろうきん**

**JAバンク**  
三重県下JA/JA三重信連

**re70** PRINTED WITH SOYINK™ 古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。